

すいそう

## 魅惑のカプセルトイ

山田 麻 悠



最近、街や商業施設などのちょっとした空きスペースに必ずといっていいほど設置されているものがある。「カプセルトイ」である。

「カプセルトイ」とはいわゆる“ガチャガチャ”, “ガチャ”, “ガシャポン”などと呼ばれ、小型の自動販売機に硬貨を入れてレバーを回転させるとカプセルに入った玩具が一つポトンと出てくる、アレのことである。

(私は“ガチャガチャ”派だが、文章中は長さの都合で“ガチャ”と呼ぶ)

私の幼少時のガチャといえば、文房具屋やおもちゃ屋さんの軒先に地味に置いてあり、一回し20円くらい。中身は“スーパー・ボール”や“半球体のゴムを裏返してぴょんと飛ぶナゾなやつ(パチンカップやポッピンアイと呼ぶようです)”などで、いわゆる“お子さま向け”といったものがほとんどだった(当時はそれで充分楽しんだ)。

しかし現在、ガチャは目を見張る進化を遂げ、キャラクター、動物ものはもちろん、みなが良く知るお菓子や日用雑貨など身の回りのありとあらゆるもののがクオリティー高くミニサイズになりキーホルダーなどとしてカプセルの中に入っている。

挙句には空のカプセル自体がガチャの中身となっているものもあり、ガチャの種類は枚挙にいとまがない。

結果として、当初のメインターゲットである子供はもちろん、老若男女、国籍を問わずさまざまな人たちがガチャにハマっている。

それを実感するのが、会社から東京駅に向かう地下通路の道すがらにある「TOKYO GASHAPON STREET(トーキョーガシャポンストリート)」である。

東京駅を利用される方はご存じかもしれないが、このガシャポンストリートは地下通路の脇に沿った細長い空間でお世辞にも商売に適した場所とは言い難いのだがこの狭小スペースに150台近くのガチャが並んでいる。

ちなみに、ガチャ一回しは一般的に300円。それが

150台。

狭い空間ではあるが、なかなか侮れないものである。

そして、この空間に仕事帰りの会社員、外国人観光客、友達同士などが吸い込まれ、すれ違うのがやっとの中をみな上手に躱しながら、思い思いお目当てのガチャを探し、吟味し、ガチャを回し、一喜一憂している。

さまざまな人たちが集まるが、その楽しみ方は共通である。

ガチャを回すのに欠かせないのが“硬貨”である。

キャッシュレスが世界基準となりつつある昨今、ガチャも電子マネー対応機が登場しているが、主力はやはり硬貨である。

“郷にいれば郷に従え”

ガチャの世界に一步足を踏み入れたのなら、キャッシュレスに逆行することを恐れてはいけない。

それがガチャの世界。

ここまでガチャをアツく語ったが、基本的にはずらりと並んだガチャのラインナップを見るのが好きである。

だが、そんな私が“回さねば！”となったのが群馬の高崎駅で見つけた『群馬限定！上毛かるたぼーち』。

群馬県民ならおなじみの郷土かるたである“上毛かるた”の絵札がデザインされているポーチである。

本来上毛かるたにはその絵札はないが、群馬県のマスコットキャラクターである“ぐんまちゃん”的絵柄のも入っている。

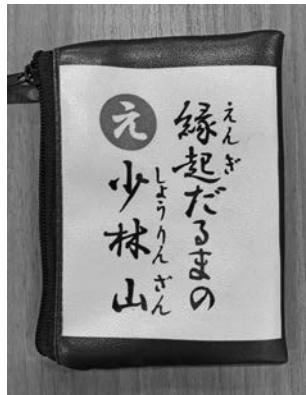
回したい理由は至ってシンプルで「勤務する会社の機械製造工場が群馬県高崎にあるから」なのだが、それならいつでも回せそうであるが、私が勤務するのは高崎ではなく本社がある東京である。

今回高崎にいるのは工場に出張で訪れているからで業務上工場を訪れる機会は多くはない。この機会を逃したらいつ回せるのだろうか…。

“お土産”という無敵の言葉を借りて一回ししてみる。はやる気持ちを抑え、カプセルをパカリと開ける。『だるまさん……？』



表



裏

写真一 上毛かるたぼーち



写真三 上信電鉄0番線のりばキーホルダー



写真二 高崎ガチャタマ

絵札でいうところの『え:縁起だるまの少林山』（高崎は高崎だるまが有名。群馬県少林山達磨寺はその発祥の地といわれている）

なかなかシブいのが出た（写真一）。

ふたたびその時は巡ってきた。ガチャチャンスである（もとい高崎出張です）。

今回のガチャは『高崎ガチャタマ（Vol.1）』という名称で、高崎に関連したお店（カインズなど）の看板などがキーホルダーになり、カプセルの中身として入っている（写真二）。

“これは回したい！”

現在私は自社のインスタグラムの投稿を担当しているので“これは投稿ネタになるかもしれない”というもっともらしい理由を付けて一回ししてみる。

カプセルを開ける。



写真四 カプセルとその中身

『上信線のりば0』（高崎駅の上信電鉄0番線のりば案内板のキーホルダー）

ふたたび、なかなかシブいのが出た（写真三）。

望んだものが一回で出る時もあれば、そうでない時も。それがガチャの世界。

そしてまたそれが多くの人がハマる理由の一つでもある。

ガチャ沼、恐るべし。

皆さま、くれぐれもご安全に（写真四）。